

地域連携パスの利点

- 栄養剤の種類や水分量, 嚥下食形態, 介助法などのシームレスな情報伝達
- 食機能連携ユニットパスによる嚥下障害患者の予後, 回復過程の詳細な追跡調査
 - 胃ろう時期検討, 薬剤選択への応用